

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名		東北・北関東インバウンド再生緊急対策事業		担当部局庁		観光庁		作成責任者								
事業開始・終了(予定)年度		平成24年度		担当課室		国際交流推進課		課長 亀山 秀一								
会計区分		一般会計		施策名		20 観光立国の推進										
根拠法令 (具体的な条項も記載)		観光立国推進基本法第17条		関係する計画、通知等		観光立国推進基本計画 新成長戦略(基本方針)										
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		被災3県訪問外国人に対する査証代免除措置(2011年11月より5年間)を契機に、震災後の外国人旅行者の落ち込みが大きい東北及び北関東の訪日需要の回復のため、海外主要市場における風評被害の払拭と当該地域の観光復興のPR等の緊急対策を実施する。														
事業概要 (5行程度以内。別添可)		<p>①商談会・観光キャラバン…在外公館等と連携し、東北・北関東の地方自治体や観光事業者等が、海外の主要市場において現地旅行会社等との商談会や海外消費者へ直接に観光復興をPRする観光キャラバンを開催。</p> <p>②海外現地旅行会社/メディア招請…①での商談会等を受けて、東北・北関東を含む訪日商品造成に関心をもった旅行会社、当該地域の取材を検討する海外メディアを招請。訪日商品の造成と記事掲載へつなげる。</p> <p>③「東北・北関東ガイドブック」の制作…海外主要市場のガイドブックと連携し、「東北・北関東」に特化し、当該地域の安全・安心情報と当該地域の特に優れた観光地や施設等のみを掲載したガイドブックを制作し、外国人の訪問を促進。</p> <p>④ 外国人旅行者による訪日観光の安全・安心及び魅力発信事業…訪日した外国人に対する協力民間事業者等による特典の付与や優れた発信に対する表彰等により、訪日及び発信意欲を喚起。</p> <p>⑤外国人旅行者によるSNS等を活用した情報発信の効果検証調査…④の事業により訪日した外国人がSNS等を活用して行った情報発信の効果について検証を行い、訪日プロモーションにおける、SNS等の安全で効果的な活用方針を調査。</p>														
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他														
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度		22年度		23年度		24年度		25年度要求				
		予算 の 状 況	当初予算								624		-			
			補正予算													
			繰越し等													
			計								624		-			
		執行額														
執行率(%)																
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標					単位		21年度		22年度		23年度		目標値 (28年度)	
		訪日外国人旅行者数			成果実績		万人		679		861		622		1,800	
					達成度		%		37.7%		47.8%		34.6%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標					単位		21年度		22年度		23年度		24年度活動見込	
					活動実績 (当初見込み)										-	
単位当たりコスト		(円/)			算出根拠											
平成24・25年度予算内訳		費目		24年度当初予算		25年度要求		主な増減理由								
		職員旅費		4,014												
		委員等旅費		890												
		外国人旅行者 訪日促進対策庁費		619,010												
計(千円)		623,914														

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	震災からの早期復興を目指すにあたり、自治体単独で実施している風評被害対策に加え、東北・北関東が一体となってプロモーションを行う事により、高い効果が期待できる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	震災後の外国人旅行者の落ち込みが大きい東北及び北関東の訪日需要の回復を目指し、適切な執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
	平成24年度の事業実施を踏まえて、より効率的な執行を行うべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	平成24年度をもって事業終了とした。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-